

教育センター・学習支援室

月報(3)

Setsunan University Education Center
Monthly Report Vol.3-June 2009
2009年6月号



1. 概況

5月の新型インフルエンザ感染拡大防止のための休校措置により、例年ならば6月初旬に実施されていた微積分Ⅰ統一中間試験の日程も6月中旬にずれ込んだ。統一試験直前は1日に200人近い利用者があり、数学での利用も例年に比べ多くなっている。ただ1つ気になることは、利用者が増え忙しさを感じている中、1年次生の利用よりも上級生の利用のほうが多いように感じられることである。統計データを見ても1年次生の利用は少なく、むしろ上級生の利用が圧倒的に増加しており、1年次生の利用の少なさが前期の成績に影響しないか、気になっているところである。

今月も、E科1年次生で基礎ゼミの時間を利用して、学習支援室の見学ツアーがあったが、C科1年次生では基礎ゼミの演習問題の解答(採点)を学習支援室で行うという企画があった。そのいきさつは4月、5月の月報をご覧になられたC科の先生方が1年次生の学習支援室の利用状況が例年に比べ低迷していることを危惧され、この企画が学習支援室利用のきっかけになればと相談に見えられたのである。基礎ゼミの時間に演習用の問題配布と説明がなされ、翌日から学生たちが来室した。学習支援室側では採点だけでなく、誤答に対してはアドバイスを即行して訂正を行わせた。採点と指導時に気づいたことだが、学生たちは予想以上に熱心に取り組んでおり、この取り組みに対する学生たちのモチベーションの高さも伝わってきた。さらには当該学科教員の全員参加へ向けての意気込みも感じられた。パソコン講習など、ゼミ単位での企画はこれまでに色々となされてきたが、学科、学年全体での取り組みは今回がはじめてである。今回の企画を皮切りに学習支援室利用が定着してくれればと願ってやまない。

2. 利用状況 [6月1日~30日]

総利用者数 **2626人** [2008年度 1919人, 2007年度 1342人]
105.0人/日 [学習相談 2197人(24日), 補習授業 429人(25日)]

1) 利用統計

学年別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
1年生	704人	933人	795人
2年生	1094人	737人	295人
3年生	760人	166人	210人
4年生	48人	82人	38人
その他	20人	1人	4人

[※その他 留年生・大学院生の利用]

科目別利用者数 (全学部延べ人数)

年度	2009	2008	2007
数学	1130人	1111人	807人
物理	203人	296人	161人
英語	103人	72人	41人
情報	27人	20人	69人
化学・生物	36人	317人	221人
専門・一般	907人		
自習	1694人		
その他	146人		

学科・学部別利用者数 (延べ人数)

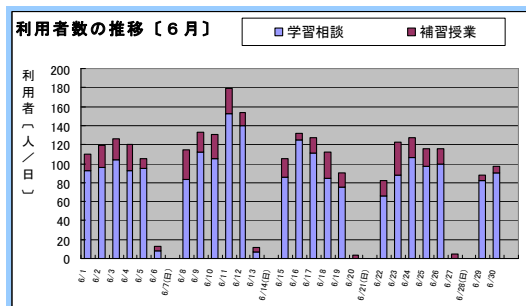
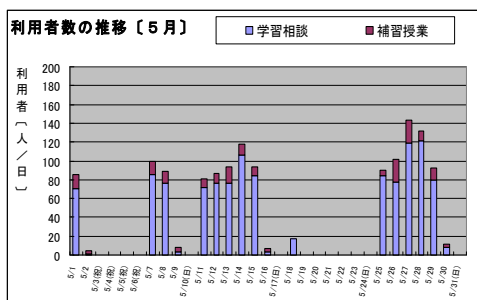
年度	2009						2008	2007	
	1年次	2年次	3年次	4年次	5年以上	合計			
工学部	C科	154人	38人	35人	0人	0人	227人	272人	212人
	A科	113人	330人	68人	0人	5人	519人	321人	140人
	E科	229人	325人	541人	29人	9人	1133人	824人	543人
	M科	51人	205人	40人	18人	0人	314人	216人	249人
	B科	154人	196人	67人	1人	0人	418人	277人	193人
他学部	I部	1人	0人	0人	0人	0人	10人	4人	3人
	J部	0人	0人	7人	0人	0人			
	L部	0人	0人	2人	0人	0人			
	P部	0人	0人	0人	0人	0人			
大学院	0人								

[※他学部の利用 J3-教職, L3-SPI 等で利用]

次年度の生命科学科設置に伴う準備として、データベースサーバのバージョンアップを行い、利用統計表については細分化を行った。科目別利用者数の表も従来は専門科目・一般科目の学習相談と自習による利用はすべてその他でまとめていたが、それらの内訳がわかるように表記した。これを見ると、専門科目や自習による利用が前年度に比べての利用者増になっていることがわかる。

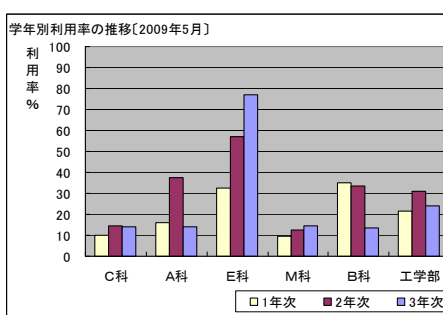
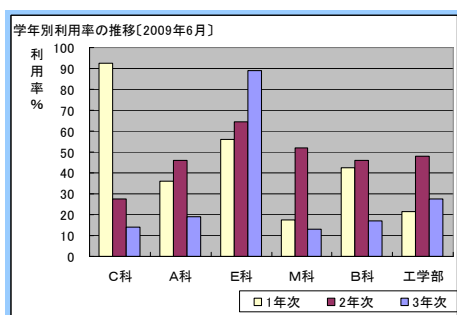
2) 利用者の推移

6月の利用者数の推移を表に示した。6月は中間試験が日々行われたため、そのための学習相談が相次ぎ、連日100名を越える利用者があった。特に第2週の土曜日は微積分Iの統一中間試験が実施されたため直前は200名近い利用者があった。今月はA科の学生からの希望があり、専門関連科目であるが、構造力学の補習授業が不定期ながら実施された。課題演習と中間試験対策が目的で、2年次生を中心に3年次生も参加していた。補習授業の参加者の多い日がそれである。補習授業は田中が担当した。



3) 学年別利用率の推移

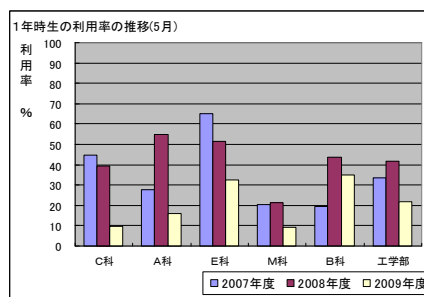
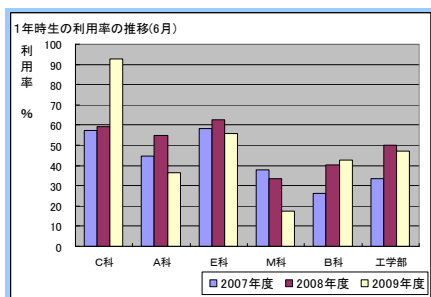
6月の学年別の利用率を集計した。今月は中間試験が実施されたこともあり、1、2年次生で利用率が高くなっている。今年度にはいってE科の3年次生が実験レポートの作成のための利用で、利用率が高くなっていたが、今月はE科3年次生のうち90%近い学生が利用した。さらにC科の1年次生は利用率92.5%を記録した。これは基礎ゼミの演習課題の採点を学習支援室で行うという企画のためである。(概況参照)



※利用率=(在籍数に対する実利用者数の割合を百分率で示したもの)

4) 1年次生における利用率の推移

以下に1年次における6月の利用率の推移を2007年度生から示した。どの年度も5月より6月の利用率が高くなっており、これは6月に実施される微積分Iの統一中間試験の利用による影響だと考えられる。2009年度C科の利用率が飛びぬけて高くなっているのは、前述の基礎ゼミの特別企画があったためである。また、2007年度E科も5月の利用率のほうが若干高くなっているが、これは物理の基礎で中間試験を前期に2回行っており、その1回目がある5月の下旬にあったためである。試験対策のための学習支援室利用と補習授業の参加が多かったことを記憶している。比較のため5月分の利用率も掲載した。



3. 今月のトピックス

- * [10日(水)] C科基礎ゼミ演習課題の採点を学習支援室で行い、事後指導することの打ち合わせ。C科伊藤教授が来室され、田中、菅波で対応した。今年度のC科1年生の学習支援室利用率が低迷していることから、利用するきっかけになればとの企画。
- * [13日(土)] 微積分I前期中間試験が実施された。新型インフルエンザ感染拡大防止のための休校措置により、予定より1週間遅れた。
- * [16日(火)] 留学生別科赤松先生と阿部さんが341号教室使用の件でスタッフルームに来室。学部と別科の授業時間帯が異なるため使用教室の確保が難しいとの相談であった。支援室も試験期間中は混雑が予想され予備教室としていたところであるが、7月末日まで別科の授業4限終了(15時10分)まで341号を使っていただくようにした。後期については後日打ち合わせる。
- * [29日(月)] E科1年次の基礎ゼミで、鹿間先生と高瀬先生のグループが学習支援室の見学のため来室。学習支援室(1)の説明は西村、学習支援室(2)の説明は荒木が担当した。